

寺報

龍正寺

日なた 215号

安
未
急

日
延



<令和 8年 4月>

宝龍会
護持会

春季彼岸会

桜の花が咲き始め、ピンクの色で染められています。
自然の四季を感じられますね。春の訪れに感謝。



檀信徒の皆様、ご先祖様
への供養を一心に



一言一職住

聖語カレンダーを書写させてもらいます。

ただ我
信ずるのみに
あらず

日蓮大聖人に遺文「互正安国論」

この文は「また他の誤りを戒めんのみ」と続きます。
世の中を良くするため、良と思ったことを自分
自身に留めず、他人の誤りに注意して、こうと
いうことです。

私たちは日常生活の中で、自分だけの正解を相手に
押し付けてしまったりすることがあります。それはど
すれば、おやみに相手を否定しかねず、発展性のない
ものになってしまいます。

他人に注意や忠告などをする場合は、一度立ち止
まって独りよがりの正解(思い込み)にとらわれていないか
よく考え、常に相手を尊重し、安穏な世の中を願う心が

ら行いましょう。鎌倉時代の日蓮大聖人はお釈迦さまが説かれた經典の一つ『法華経』を信仰の基にしました。改めてすべての仏教經典を読み込まれて人々の安穩を願い、「立正安国論」という書を著しました。

立正安国論は文応元年(1260)聖寿39歳

私たちの心の持ち方を改め安穩な世の中にしていくと、鎌倉幕府の実力者である前執権、最明寺入道北条時頼に上奏した書物です。日蓮大聖人の代表的な著作です。

3月聖語カレンダーより書写しましたありがとうございます。
日蓮大聖人の聖語カレンダーを御愛用下さいます事を
お願ひに申し上げます。

合掌

南無妙法蓮華経

和顔施 (笑顔と素敵なお声に満たされて…)

朝仕事先のエレベーターで、5kgほどの米袋を肩にのせて30代後半ぐらいの年齢の男性が「すみません!!」とかけこんで来ました。おもわず開くのボタンを押し、なんとかその男性はエレベーターに滑り込めました。

「ありがとうございます!」と爽やかな声と笑顔に驚きました。エレベーターを降りる時も、深く頭を下げて「ありがとうございます。」と挨拶されたのです。ほんのわずかな出会いでしたが、とても気持ちのいい出来事でした。何故かその日から数日間爽快感に満たされました。その後、また偶然、その男性の方とエレベーターで鉢合わせしました。エレベーターに乗ろうとした時、「おはようございます。」爽やかな笑顔で挨拶されたのです。私も「おはようございます。素敵なお声です。心が優しく明るくなります!」と思わず言ってしまいました。すると、にっこり「ありがとうございます。」満面の笑みをさされました。

もうひとつの出会いがありました。一度行ってみたい飲食店があり、手にした広告には割引券もついていたので、休憩

時間に営業時間を聞こう電話をしました。とても元気な明るい声の女性の方でした。言葉のムとフムとフに優しさを感じる話し方に、食べに行く事よりもどのような女性なのかな？会ってみたいと思いすぐ来店しました。

店内に入ると電話で対応された方の声が響いていました。注文する時に、「先程の電話の方ですね。」声をかけて下さり、私も「食べに来る思いより、素敵な声の方に会いたかったと思ってきました。」と伝えると「嬉しいです。ありがとうございます。会ってみてどうですか？」と苦笑されましたが、「思ってたイメージ通りの方でびっくりしました。」と返答しました。少しの間でしたが、料理でお腹も、店員さんとの会話で心も満たされました。

来てよかったと大満足でした。次はこの幸福感を一期一会の気持ちで出会う方々に和顔施をしたかったと思いました。実はこの頃、このような出会いが多くなりました。その度、優しい気持ちも頂く事も数多くあります。寺院へ参拝するたびに、頂いた優しい気持ちを心から感謝、その方がどうかお侍せでありますようにと願う様になりました。その思いは新しいご縁を侍せを繋いで頂けます。

桜も満開で美しいおかししいセンクの
桜をたのしめましたこの頃です
過ぎゆく目の中で無事の有り難さ
を息味す

何よりのこと勿体なくの喜びでござ
います。小さなこ柄によるこべは
よるこひかよるこんでよるこぶるを集め
てくれるおです。だから何事もわたくし
はよるこびます。その時々によりがたさ
を覚えます。信仰の道もよるこひの
思いで参拝をさせて頂き ぶ法話を学
ばさせて頂けますともよるこひです...

又信徒の方々からの良きお話しも
伺かがよるこびます。先祖供養など
の積み重ねより家族の幸せのご守護

も頂いてお礼すこ等々感謝の意の
よるこがております

3月29日(日曜日) 長男夫妻と次男と

4人で大垣の美濃国分寺のお薬師さんと

御首神社さんへ参拝を致しました

わたしが50代の頃 おばあちゃんとお父さんと

良く参拝をさせて頂きました

その頃 おばあちゃんは杖をたっていました
しつかり歩けました おばあちゃんの手を引いて歩
きました

今のわたしは杖がたよりでもよろよろです

そんなわたしを嫁が手をさしのべてこわまして

しつかり手を握りしめて歩いてくわしました

こうして受けつかわれてゆく嫁と娘の姿が

今ここに有りますこが 何よりの幸せの

有り難さを覚えます 感動の思いで
じやいます

若い家族と暮す日々は安心という有り
がたさのおかげさまでございます

移り変りぬ人生の道の中には若さ故の
反省といはれ有りましたが典型的な
O型より素直に明るく笑顔で歩いて
こられました今です

法々經の学びが得られましたのは

60代の半ば頃です 学びよりの良し悪し
がわかりそして心よりの思いが おあり始め
ましたのが 70代に入ってからの様です

法々經の学びが何よりの心の宝と
なりますこの今です 若い家族に
受け継がれてゆきますことが 何れの有り
がたさの喜びでございます

老いの真只中にいますわたくしですが自分で
自分が好きです せう日々を大に致し
心に止めています ありがとうございます

南無妙法蓮華經

合掌

< 4月行事予定 >

4月 8日 (水) 10:00~ 釋尊降誕会
宗祖日蓮大聖人報恩会
立教開宗会

18日 (土) 10:00~ 鬼子母尊神) 祈禱会
七面大明神)

※ 4月19日(日) 大祈禱会(檀信徒総会)は
5月17日(日)に変更させていただきます。

< 4月住職の予定 >

- 4月1日より私用で出張ます。施錠が多くなり、お電話下さい。
- 4月28日午後 14:00 法縁講

< 4月の予定 >

4月 1日 (水)	各々の時間で"	清掃、準備
↓	↓	↓
7日 (火)		
8日 (水)	法要後	片付け、準備
9日 (木)	各々の時間で"	清掃、準備
↓	↓	↓
17日 (金)		